

2022年度 スポーツバイオメカニクス研究室 論文発表会

- ◆ 日 時：2023年2月11日（土・祝）12:00～
- ◆ 場 所：5C216教室
- ◆ 発表形式：学群3年生（ミニ卒論） 発表 7分， 質疑3分
学群4年生（卒業論文） 発表10分， 質疑5分
博士前期課程（修士論文） 発表15分， 質疑5分
博士後期課程（博士論文） 発表15分， 質疑5分



No.	時刻	発表者	発表タイトル
Session I : ミニ卒論の部			(座長 : MC1 岸 厚佑)
1	12:00	矢澤 盛和	インステップキック動作のコーチングに関するバイオメカニクスの比較
2	12:10	神原 慎太郎	バッティング動作における予備動作がスイングスピードに与える影響
3	12:20	近藤 大介	スパイクジャンプのジャンプ高における踏み切り足の着き方の違いによる比較
4	12:30	坂本 智亮	サッカースパイクのスタッド配置の違いによる切り返し動作の比較
5	12:40	田崎 義規	スキップ前後のスプリントに関するバイオメカニクスの比較
休憩 (10 分)			
Session II : 卒論の部①			(座長 : MC1 堆 耕平)
6	13:00	橋本 昇悟	砲丸投げ競技者における上肢及び上部体幹の筋形態特性
7	13:15	戸谷 直大	野球投球動作における2段モーションによる動作的特徴
8	13:30	松本 陽介	アルティメットの踏み込みバックハンドスローに関するバイオメカニクスの比較
休憩 (10 分)			
Session III : 卒論の部②			(座長 : MC1 堆 耕平)
9	13:55	大島 璃久	水球における素早く速い逆ハンドツーハンドシュートの特徴
10	14:10	夏目 湧太	柔道における喧嘩四つの背負い投げに対する防御姿勢の検討
11	14:25	辰巳 新	加速疾走における下肢のばね的挙動の個人差とその身体的決定要因の検討
休憩 (10 分)			
Session IV : 修論の部①			(座長 : MC1 枝川 岳史)
12	14:50	江原 拓貴	複数の慣性センサを用いた野球投球動作の計測に関する研究 ～動作生成メカニズムに着目して～
13	15:10	富永 天平	ハンマー投げターン動作における身体の回転メカニズム —角運動量および力学的エネルギーによる検討—
14	15:30	浅沼 雄太	卓球のフォアハンドドライブ動作における順動力学的貢献分析
15	15:50	藤森 俊秀	Biomechanical interrelationship between bodily and movement characteristics in jumping
休憩 (10 分)			
Session V : 修論の部②			(座長 : MC1 枝川 岳史)
16	16:20	日高 遼子	異なる角度の方向転換動作における足部力学特性
17	16:40	根本 花梨	障害予防を目的とした立位足関節底屈位における姿勢保持機能の分析
18	17:00	山田 駿斗	ラクロスのシュート動作における指導用動作モデルに関する研究 (ビデオ発表)
休憩 (10 分)			
Session VI : 博論の部			(座長 : MC1 島川 帆乃花)
19	17:30	藤井 宏明	ハンドル先行距離獲得からみたハンマー投動作中のハンマーヘッド加速技術に関するバイオメカニクスの研究 (オンライン)

18:05頃 終了予定

※ 新型コロナウイルス感染症の流行状況等を鑑みて、オンライン(Zoom)とのハイブリッド形式に変更する可能性があります。
開催形式の変更等の情報は研究室HPに掲載いたします(URL: <https://lasbim.taiiku.tsukuba.ac.jp/>)。)